

この通信は、畠地区まちづくり協議会の活動やまちづくりの情報をお知らせする広報誌です。

# まちづくり通信

No.2

2015年11月

発行：畠地区まちづくり協議会

畠地区のまちづくりに関する  
アンケート調査結果を報告します！

第1回  
アンケート

## 「アンケート調査」の結果を報告します！

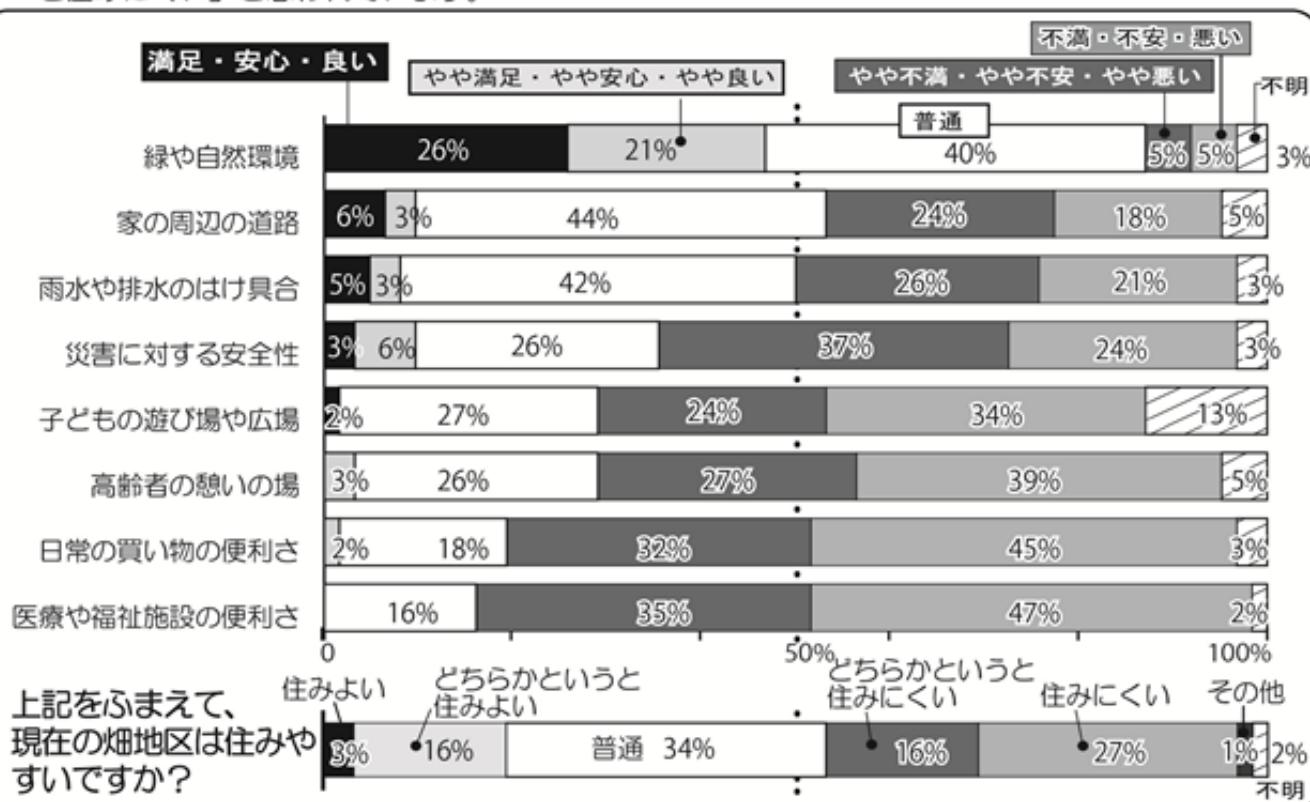
**A**ンケート調査は、畠地区の将来構想等を検討するため、地域にお住いの方々のご意見をうかがいたいと、9月に実施しました。各隣保長さんにアンケートの配布・回収にご尽力いただき、81%の高い回収率となりました。みなさんのご協力に感謝申し上げるとともに、集計結果の一部をご報告いたします。



問：現在の畠地区的住環境やコミュニティについてどのように感じておられますか

「緑や自然環境」に満足している人が多いのをはじめ、「普通」を含めると3つの項目で満足層が半数以上を占めていますが、「日常の買い物の便利さ」「医療や福祉施設の便利さ」などの利便性に対する不満が高くなっています。全体的な住みやすさについては、「普通」を含めて住みやすいとする割合が半数以上を占めているものの、4割以上の方が「住みにくい」、「どちらかというと住みにくい」と思われています。

現在の畠地区的住環境やコミュニティについて



連絡先：畠地区まちづくり協議会



## 問：畠地区や小学校区に必要な施設は？

畠地区にあつたらいいな

- 食品スーパーなど 18%
- 診療所・病院 21%
- 老人福祉施設 20%
- 町工場・中小事業所 12%
- 市民農園 15%
- 農産物直売所 15%

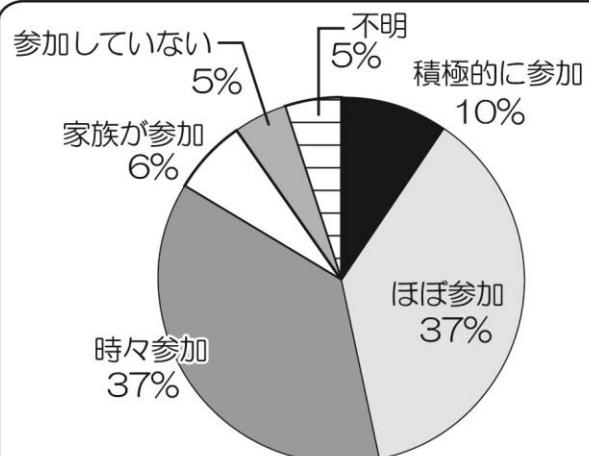
小学校区にあつたらいいな

- 食品スーパーなど 48%
- 診療所・病院 48%
- 老人福祉施設 34%
- 町工場・中小事業所 28%
- 市民農園 17%
- 農産物直売所 25%



## 問：町内会等の行事には参加されていますか。

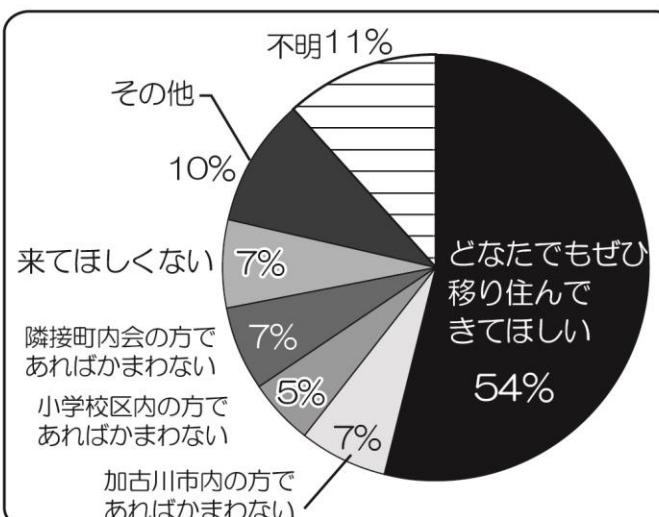
「ほぼ参加」、「時々参加」が同数で37%、「積極的に参加」10%、「家族が参加」6%あり、9割の方が何らかの形で町内会等の行事に参加されています。



## 問：地区外の方が移り住んでこられることをどう思われますか。

田園まちづくり制度では、区域指定を受けると地縁者の住宅や新規居住者の住宅等が建築できることになります。

地区外の方が移り住んでこられることに対しては、「どなたでも移り住んでほしい」が54%と最も高く、2/3以上の方がかまわないと考えておられるようです。



## 問：畠地区の良いところ、魅力として残していくべき、受け継いでいくべきものは？

- ・伝統的な行事、コスモスマツリ など
- ・ホタルのすめる川
- ・自然環境、のどかな田舎の風景
- ・雑郷の棚田 など

第2回  
勉強会  
9/23

水  
では、

まち歩き & マップづくり  
をしました。

みなさんとまちを歩いて、畠地区のよいところ、困っているところなどを確認したあと、「畠地区の課題マップ」にまとめました。

